

日立金属株式会社

2015年度第2四半期累計決算説明

2015年度業績見通し

2015年10月27日

*Towards
Innovative
Growth*

1	2015年度第2四半期累計業績概要
2	2015年度業績見通し
3	アクションプラン概況
4	次期中期経営計画の主眼

需要 動向

国内自動車関連を中心とした需要調整が継続
堅調に推移した製品があるものの、中国の景気減速もあり
全体として需要弱含みで推移

- 米国市場における自動車関連需要は堅調に推移
- 産業インフラ関連は全般的に堅調に推移
- エレクトロニクス・情報システム関連は調整が継続

特殊 要因

事業ポートフォリオ入れ替えによる一時的利益を計上

- 事業再編等利益 293億円(旧日立ツール株式売却関連等270億円)

1-2. 2015年度第2四半期業績概要

IFRS

	14年度 2Q累計実績 1\$=103.04円	15年度 2Q累計実績 1\$=121.80円	増減	
(金額単位:億円) ()は利益率				
売上収益	4,487	5,250	+17%	Waupaca社連結化等により増収
調整営業利益	(8.2%) 367	(6.9%) 362	△5	国内自動車を中心とした需要調整の影響や原材料評価減により、前年同期比5億円減
その他の収益	74	318	+244	事業再編等利益293億円計上 (うち旧日立ツール株式売却関連270億円)
その他の費用	△44	△64	△20	
IFRS営業利益	(8.8%) 397	(11.7%) 616	+219	
受取利息・支払利息	△8	△15	△7	
その他の金融収益・費用	11	3	△8	
持分法による投資利益	9	3	△6	
税引前四半期利益	409	607	+198	
法人所得税費用	△90	△166	△76	
四半期利益 *1	317	438	+121	
海外売上収益比率 *2	42%	57%	+15%	Waupaca社連結化等により増加
人員	26,729	29,413	+2,684	Waupaca社連結化等により増加

*1 親会社の所有者に帰属する当期利益

*2 海外売上収益地域別構成比

15/2Q: 北米31%、アジア20%、欧州4%、その他2%

14/2Q: 北米12%、アジア23%、欧州5%、その他2%

1-3. 2015年度第2四半期 セグメント別業績

IFRS

		14年度 2Q累計実績 1\$=103.04円	15年度 2Q累計実績 1\$=121.80円	増 減	
(金額単位:億円) ()は利益率					
高級 金属製品	売上収益	1,260	1,243	△1%	旧日立ツール株式売却に伴う連結除外影響額約△90億円
	調整営業利益	(11.9%) 150	(10.9%) 136	△14	上記連結除外等の影響もあり減益
	セグメント利益	(12.5%) 158	(32.3%) 402	+244	株式売却に伴う事業再編等利益270億円計上
磁性材料	売上収益	683	624	△9%	原材料価格下落による販売価格減少もあり減収
	調整営業利益	(11.3%) 77	(8.0%) 50	△27	売上減、原材料評価減影響等により減益
	セグメント利益	(11.3%) 77	(7.9%) 49	△28	
高級 機能部品	売上収益	941	1,890	+101%	需要堅調、Waupaca社連結化等で大幅増収
	調整営業利益	(6.8%) 64	(7.3%) 138	+74	Waupaca社連結化等により大幅増益
	セグメント利益	(5.6%) 53	(6.9%) 131	+78	
電線材料	売上収益	1,613	1,476	△8%	情報システム関連の需要一巡が継続
	調整営業利益	(6.4%) 103	(4.9%) 72	△31	
	セグメント利益	(8.5%) 137	(4.9%) 73	△64	14/1Qは事業譲渡益を計上(39億円)
その他 ・調整額	売上収益	△10	17	+27	
	調整営業利益	△27	△34	△7	
	営業利益	△28	△39	△11	
合 計	売上収益	4,487	5,250	+17%	
	調整営業利益	(8.2%) 367	(6.9%) 362	△5	
	営業利益	(8.8%) 397	(11.7%) 616	+219	

1-4. セグメント別業績：高級金属製品

(金額単位:億円) ()は利益率	14/2Q累計	15/2Q累計	増減	概況
売上収益	1,260	1,243	△1%	旧日立ツール連結除外による売上減の影響があるものの全体的に堅調に推移
調整営業利益	(11.9%) 150	(10.9%) 136	△14	旧日立ツール連結除外影響等により減益
セグメント利益	(12.5%) 158	(32.3%) 402	+244	事業再編等利益270億円計上(旧日立ツール株式売却関連)

(単位:億円)

売上収益の状況

■特殊鋼

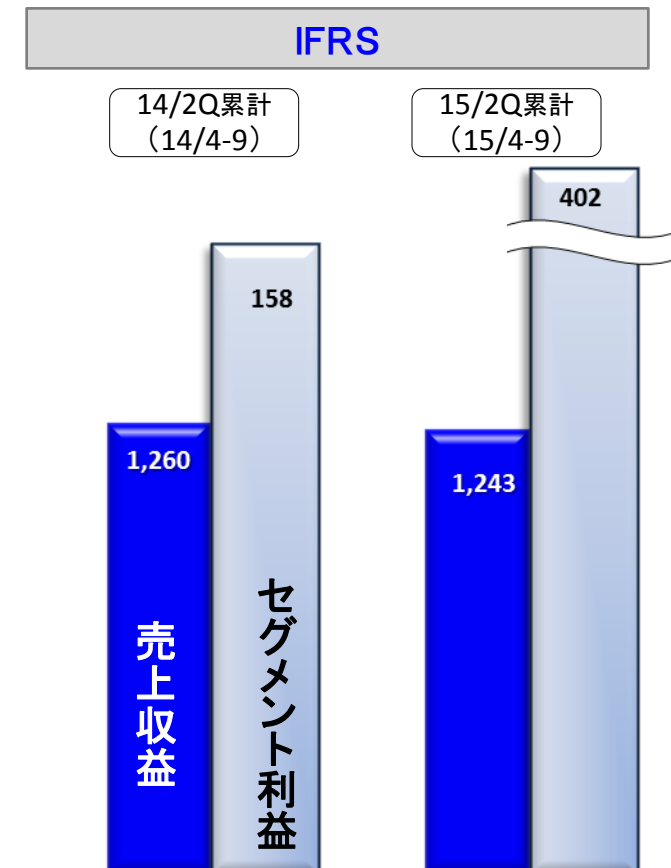
- ・工具鋼：中国、ASEAN向けが減少したが、国内向けは自動車向け金型材が堅調に推移し、また高付加価値品への製品構成シフトが進んだ結果、前年同期並みの水準を確保
- ・電子材料：ディスプレイ関連材料はスマートフォンやタブレット端末向けに堅調だったが、半導体等パッケージ材料が減少し、全体では前年同期比で減少
- ・産業機器材料：自動車関連材料に一部調整が見られたが、その他産業部材は海外向けが堅調に推移したため、前年同期並み。航空機関連材料およびエネルギー関連材料は、需要堅調に加え、日立金属MMCスーパーアロイ株式会社の連結化もあり、大幅に増加

■ロール

- ・各種ロール：輸出の伸長により増加
- ・射出成形機用部品：設備投資需要が堅調に推移し前年同期並み

■アモルファス金属材料

主要市場である中国向けの落ち込みにより、前年同期比で減少



1-5. セグメント別業績： 磁性材料

(金額単位:億円) ()は利益率	14/2Q累計	15/2Q累計	増減	概況
売上収益	683	624	△9%	
調整営業利益	(11.3%) 77	(8.0%) 50	△27	売上減、原材料評価減影響等により減益
セグメント利益	(11.3%) 77	(7.9%) 49	△28	

(単位:億円)

売上収益の状況

■ マグネット

・希土類磁石:

国内外の電動パワーステアリングなどの自動車用電装部品およびスマートフォン関連の需要が堅調に推移したが、米国および国内向けハイブリッド自動車で需要調整が継続、FA関連も需要が減少し前年同期比で減少

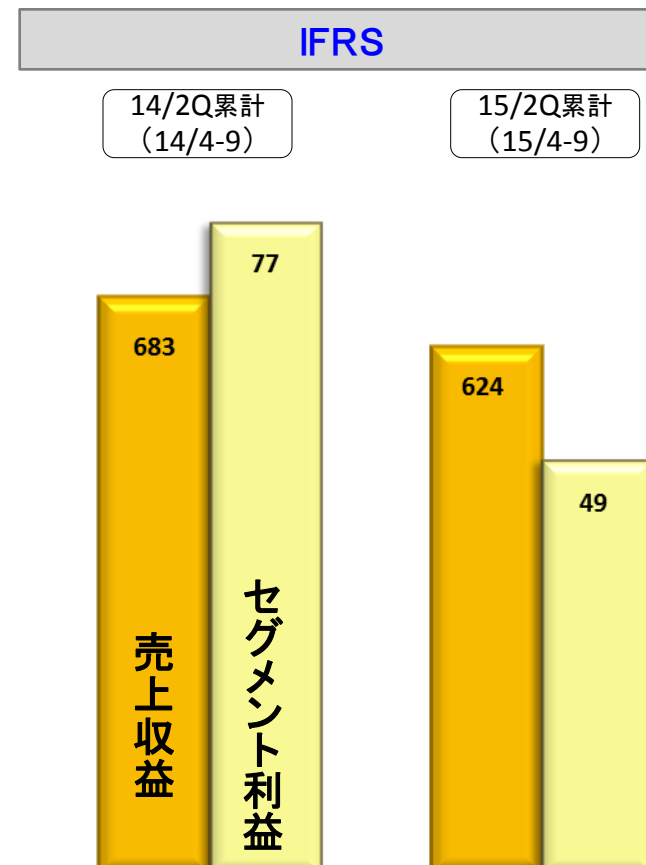
・フェライト磁石:

自動車用電装部品および家電用部品の需要が国内、海外ともに堅調に推移し増加

■ 軟質磁性材料・応用品

フェライト応用品は太陽光発電用部品向けが減少
フェライトコアも中国向け需要の減速の影響を受け低調

ファインメットは自動車用電装部品向けの需要減、およびエアコンの生産調整により減少



1-6. セグメント別業績：高級機能部品

(金額単位:億円) ()は利益率	14/2Q累計	15/2Q累計	増減	概況
売上収益	941	1,890	+101%	需要堅調、Waupaca社連結化等により大幅増収
調整営業利益	(6.8%) 64	(7.3%) 138	+74	Waupaca社 連結化等により大幅増益
セグメント利益	(5.5%) 53	(6.9%) 131	+78	

(単位:億円)

売上収益の状況

■自動車用鋳物

・高級ダクタイル鋳鉄製品：
米国を中心とする、海外の自動車における旺盛な需要が続く
国内需要も堅調に推移し増加

・耐熱鋳造部品：
期前半に一時的な需要調整があり前年同期比で減少

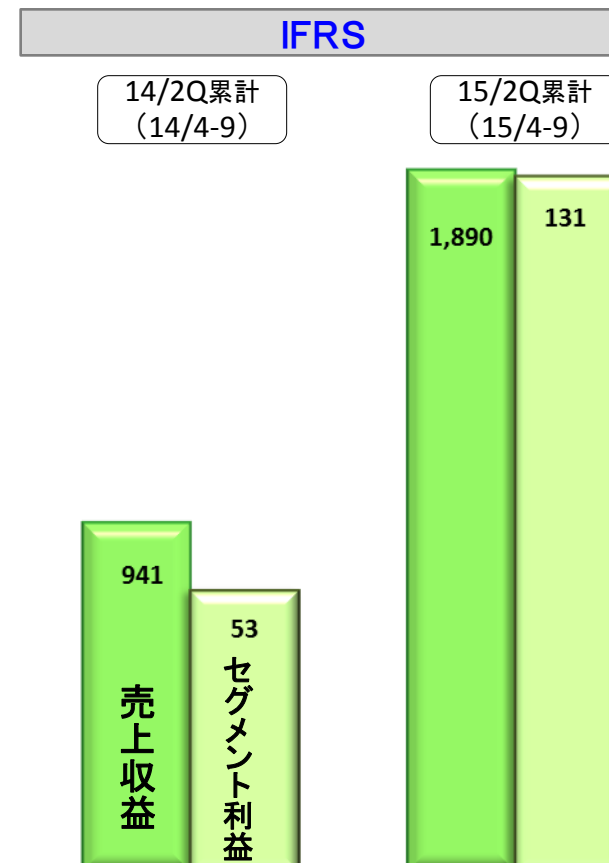
・アルミホイール：
国内及び米国の需要が好調に推移し、前年同期比で増加

これらに加え、Waupaca社の連結化により、自動車用鋳物全体として大幅な増収増益

■配管機器

・鋳物継手類：
国内向けの減少を海外向けの増加で補い、前年同期並み

・ステンレス及びプラスチック配管機器：
国内需要が踊り場であり、前年同期比で減少



1-7. セグメント別業績：電線材料

(金額単位:億円) ()は利益率	14/2Q累計	15/2Q累計	増減	概況
売上収益	1,613	1,476	△8%	情報システム関連の需要調整が継続
調整営業利益	(6.4%) 103	(4.9%) 72	△31	
セグメント利益	(8.5%) 137	(4.9%) 73	△64	14/1Qは事業譲渡益を計上(39億円)

(単位:億円)

売上収益の状況

■電線

事業ポートフォリオ見直しに伴い売上収益が減少したが、注力分野である鉄道車両用電線が海外市場向けを中心に好調。

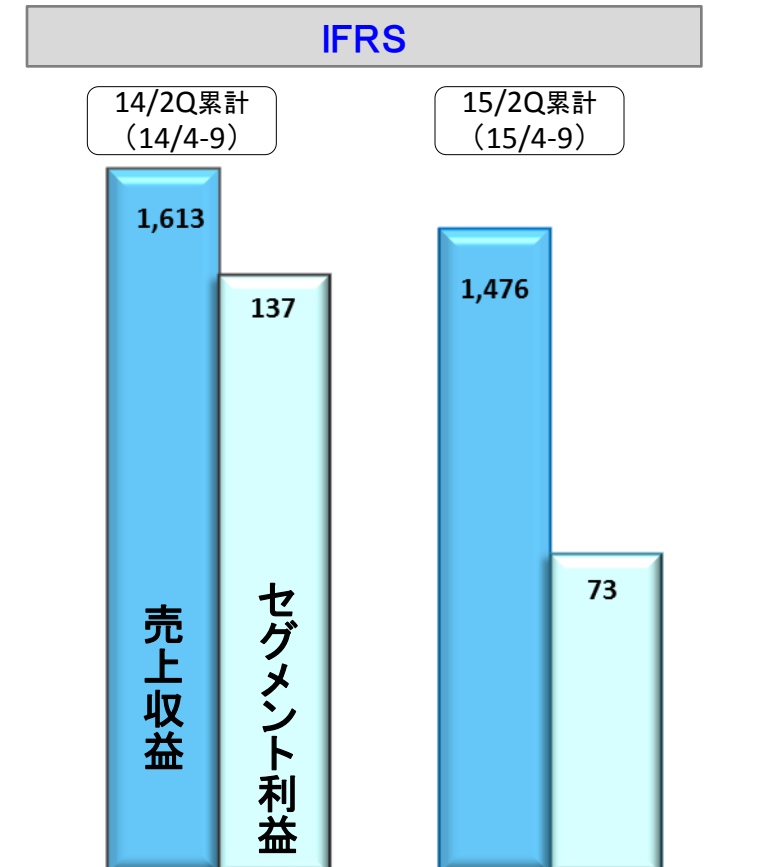
医療用プローブケーブルも堅調。国内建設向け需要は低調。

■自動車用部品

北米を中心に自動車の旺盛な需要が続いたことにより電装部品、ブレーキホースとも好調に推移

■情報システム

通信事業者の設備投資の調整継続により、ネットワーク機器、ワイヤレスシステムともに需要が低調に推移



1-8. 資産/負債・純資産

(単位:億円)

科 目	15年3月末	15年9月末	増 減
現金および現金同等物	790	1,164	+374
売上債権	2,205	2,056	△149
棚卸資産	1,665	1,603	△62
その他流動資産	787	474	△313
非流動資産	5,388	5,525	+137
資産合計	10,835	10,822	△13
有利子負債	2,554	2,463	△91
買入債務他	1,811	1,746	△65
その他負債	1,708	1,527	△181
負債合計	6,073	5,736	△337
親会社株主持分	4,664	4,989	+325
非支配持分	98	97	△1
純資産合計	4,762	5,086	+324
(D/Eレシオ)	0.55	0.49	△0.06

1-9. 連結キャッシュ・フロー

(単位:億円)

科 目	14/2Q累計	15/2Q累計	増 減
第2四半期利益	320	441	+121
減価償却費	176	213	+37
運転資金の増減	48	113	+65
その他	△71	△270	△199
営業キャッシュ・フロー	473	497	+24
固定資産の取得	△188	△296	△108
その他	61	328	+267
投資キャッシュ・フロー	△127	32	+159
フリーキャッシュ・フロー	346	529	+183
借入金・社債の増減	△244	△84	+160
配当金支払 他	△47	△57	△10
財務キャッシュ・フロー	△291	△141	+150
為替変動影響	17	△15	△32
現金及び現金同等物の増減額	72	374	+302
現金及び現金同等物の期末残高	1,002	1,164	+162

【営業キャッシュ・フロー】

第2四半期利益の増加等により、前年同期に対し、24億円の収入増加

【投資キャッシュ・フロー】

成長基盤の強化に向けた設備投資による支出が増加したものの、株式売却等による収入(273億円)があったことにより、前年同期に対し159億円の収入増加

【財務キャッシュ・フロー】

配当金支払額の増加等があったが、長期借入債務の減少により、前年同期に対し150億円収入増加

1	2015年度第2四半期累計業績概要
2	2015年度業績見通し
3	アクションプラン概況
4	次期中期経営計画の主眼

需要 動向

国内自動車関連を中心とした需要調整や
中国・新興国の景気減速による需要鈍化が継続
下期に入りさらに減速感が強まっており
全体として弱含み傾向が続く

- 自動車関連：
北米市場の動向は概ね安定、トラック等の新興国需要は調整が継続
- 産業インフラ関連：
航空機・エネルギー関連は堅調なもの、中国市場向け製品の需要は停滞継続
国内の設備投資関連も一巡感が続く
- エレクトロニクス関連：
スマホ関連等新規需要が期待されるも過熱感なく、増加・伸長はないものと見込む

2-2. 2015年度業績予想

IFRS

(金額単位:億円) ()は利益率	14年度 実績 1\$=109.93円	15年度 従来予想 1\$=115円想定 15年5月12日公表	15年度 今回予想 平均為替レート 1\$=121円	増減	
売上収益	10,044	11,000	10,400	△5%	下期に入り需要減速感が強まっており従来予想に対し減少を見込む
調整営業利益	844	(8.4%) 920	(7.4%) 770	△150	売上減少及び上期に発生した原材料評価減の影響等で従来予想を減額
IFRS営業利益	(8.4%) 844	(9.7%) 1,070	(9.6%) 1,000	△70	調整営業利益の減により予想数値を見直し
税引前利益	864	1,060	970	△90	
当期純利益*1	706	730	680	△50	
総資産	10,835	11,500	11,000	△500	
株主資本	4,664	4,820	5,175	+355	
有利子負債	2,554	2,420	2,370	△50	
D/Eレシオ(倍)	0.55	0.46	0.46	0	
ROE	16.8%	14.5%	13.8%	△0.7%	
海外売上収益比率	47%	55%	55%	0	
人員	30,278	29,500	29,000	△500	

*1 親会社の所有者に帰属する当期利益

2-3. 2015年度業績予想(セグメント別売上高・調整営業利益)

IFRS

(金額単位:億円)		14年度 実績 1\$=109.93円	15年度 従来予想 1\$=115円想定 15年5月12日公表	15年度 今回予想 平均為替レート 1\$=121円	増 減	
高級 金属製品	売上収益	2,608	2,650	2,480	△6%	アモルファス金属の中国需要停滞等により減少
	調整営業利益	328	325	286	△39	売上減により従来予想対比減
	調整営業利益率	12.6%	12.3%	11.5%	△0.8	
磁性材料	売上収益	1,355	1,340	1,220	△9%	FA・自動車・家電等、中国市場向け需要減
	調整営業利益	168	150	108	△42	売上減少や原材料価格低下に伴う評価減の影響等により従来予想対比減
	調整営業利益率	12.4%	11.2%	8.9%	△2.3	
高級 機能部品	売上収益	2,823	3,940	3,690	△6%	日系自動車関連の需要調整が継続 原材料価格低下に伴う影響もあり売上減少
	調整営業利益	202	325	285	△40	売上減少により従来予想対比減
	調整営業利益率	7.2%	8.2%	7.7%	△0.5	
電線材料	売上収益	3,280	3,110	2,990	△4%	情報システム関連の需要調整が継続
	調整営業利益	208	200	165	△35	
	調整営業利益率	6.3%	6.4%	5.5%	△0.9	
その他 ・調整額	売上収益	△22	△40	20	+60	
	調整営業利益	△62	△80	△74	+6	
合 計	売上収益	10,044	11,000	10,400	△5%	
	調整営業利益	844	920	770	△150	
	調整営業利益率	8.4%	8.4%	7.4%	△1.0	

1	2015年度第2四半期累計業績概要
2	2015年度業績見通し
3	アクションプラン概況
4	次期中期経営計画の主眼

「変革」と「挑戦」 世界トップクラスの高機能材料会社を実現

重点項目

1. 事業領域拡大、新製品比率の拡大
2. 海外事業拡大に対応した現地経営体制の強化
3. 強固な経営基盤の確立

次期中期経営計画への橋渡し

次の3年間を見たアクションプランを実行

攻めの視点で抜本的施策・成長戦略を立案

1. 成長戦略の実行
2. 顕在化している「課題」への対応
3. 事業ポートフォリオの入れ替え実行

成長への
種まき

特殊鋼事業の成長戦略を実行（15/上実行）

① 大型投資の実行による戦略製品の競争力強化

- 航空機・エネルギー材、自動車関連部材、工具鋼
- グローバル成長の基盤となる戦略投資を間断なく実行

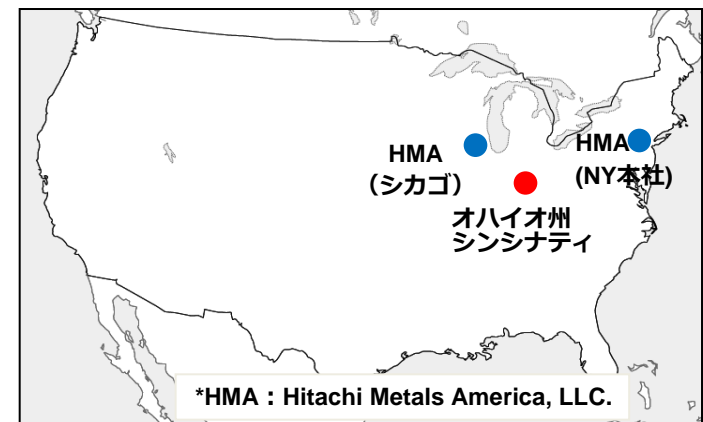


24トン大型真空誘導溶解炉(VIM)（15年3月立ち上げ）、1万トン級自由鍛造プレス（17年度完成予定）

② 工具鋼事業のグローバル拡販開始

- 北米の特殊鋼加工・販売会社を買収（Diehl Steel Company, Inc.）
- 規模は小さいが、グローバル拡販への重要な布石

- ・ Diehl社は自動車産業の集積する米国中西部に位置し、自動車関連を中心に顧客基盤を保有
- ・ 創業以来約90年間にわたり、様々な顧客ニーズに適した工具鋼の切断加工サービスを提供
- ・ プレート加工能力、Web販売を含む販売ネットワークが強み
- ・ 効力発生日は、2015年11月2日（予定）
- ・ 新社名はDiehl Tool Steel, Inc.を予定、HMA傘下でシナジー追求



成長への
種まき

マグネット事業：中国合弁の推進と生産体制整備

① 北京中科三環高技術股份有限公司との合弁契約を締結

- 中国市場におけるネオジム磁石の原材料調達から製造・販売の一貫生産体制を担う位置づけ
- 市場成長の確実な取り込みとグローバル生産・販売体制構築により市場領域・事業規模を拡大



希土類磁石
「NEOMAX®」

成長への
課題

② グローバルに最適な生産体制を構築

- 希土類磁石：マテリアルフローの改善
- フェライト磁石：高収益体質の維持・確保

成長への
課題

自動車鋳物事業の米州事業強化

- Waupaca：市場領域の拡大、非自動車分野の拡大
- NM事業：製造コスト削減、生産技術変革
- ハーキュナイト：ガソリンターボ市場拡大に対応した事業体制構築

成長への課題

電線材料事業：改革継続、成長基盤の構築

- 特長を活かせる分野・市場へのシフト(鉄道車両・医療・電装部品)
- グローバル成長戦略の実行、高収益事業体質の実現
- 上流工程の合理化投資

成長への基盤強化

海外4極における地域統括体制の構築（15/上実行）

①地域戦略の立案・実行、事業間シナジーの創出

- 米州・欧州・中国・アジアの4極において
各地域の市場状況・顧客状況に基づく地域戦略を立案・実行

②ガバナンスの強化

- 現地経営人材の獲得・積極登用による地域統括機能強化
- コンプライアンス体制の強化

1	2015年度第2四半期累計業績概要
2	2015年度業績見通し
3	アクションプラン概況
4	次期中期経営計画の主眼

成長戦略の実行を加速 グローバル市場における成長をめざす

- **戦略投資の継続実行と刈り取り**
 - グローバル競争力の強化（設備投資 / M&A）
 - 製造の革新
 - 顧客視点による材料ソリューションの強化（R&D）
 - グローバル地域戦略
 - 資金効率向上
- **持続的成長を生み出す基盤の確立**
 - 筋肉質な事業構造の構築
 - イノベーティブな企業風土の創造

「変革」と「挑戦」 世界トップクラスの高機能材料会社を実現





- 持続的成長を可能とする組織・体制の実現
- 発展する市場に事業シフトし、世界トップをめざす



(参考)日立金属 セグメント別事業内容

事業セグメント

主要製品

事業セグメント			主要製品
	高級金属カンパニー	特殊鋼	高級特殊鋼[YSSヤスキハガネ]: 工具鋼、電子材料[ディスプレイ関連材料、半導体等パッケージ材料]、産業機器材料[自動車関連材料、航空機関連材料、エネルギー関連材料]、剃刃材および刃物材、精密鋳造品
		ロール	各種圧延用ロール、射出成形機用部品、構造用セラミックス部品、鉄骨構造部品
		アモルファス金属材料	アモルファス金属材料[Metglas®]
	磁性材料カンパニー		マグネット (希土類磁石[NEOMAX®]・フェライト磁石・その他各種磁石およびその応用品) 軟質磁性材料(ソフトフェライト・ナノ結晶軟磁性材料[ファインメット®])およびその応用品、アモルファス金属材料[Metglas®]応用品、情報通信機器用材料・部品、医療機器用材料・部品
	高級機能部品カンパニー	自動車用鋳物	自動車用鋳物(高級ダクタイル鋳鉄製品[HNM®]、輸送機向け鋳鉄製品、排気系耐熱鋳造部品[ハーキュナイト®]、アルミホイール[SCUBA®]、その他アルミニウム部品、自動車用鍛造部品)
		配管機器	設備配管機器(®印各種管継手・ステンレスおよびプラスチック配管機器、冷水供給機器、精密流体制御機器、密閉式膨張タンク)
	電線材料カンパニー		電線(電力・産業システム、電子・通信材料、電機材料、工業用ゴム製品)、自動車部品(電装部品、ブレーキホース)、情報システム(情報ネットワーク、ワイヤレスシステム)

本資料に掲載されている情報のうち業績予想、事業計画および配当予想等の歴史的事実以外のものは、各資料の作成時点において、予想を行うために合理的であると判断した一定の前提および仮定に基づいており、内在する仮定および状況の変化等により、実際の業績と異なる可能性があります。その要因となるもの主なものは次のとおりです。

- ・主要市場(特に日本、米国、アジア、欧州)における経済状況および各種規制
- ・急激な技術変化
- ・競争優位性および新技術・新製品の開発・事業化を実現する当社および子会社の能力
- ・製品市場、製品市況の変動
- ・為替相場の変動
- ・国際商品市況の変動
- ・資金調達環境
- ・製品需給、製品市況、為替相場および国際商品市況等の変動に対応する当社および子会社の能力
- ・自社特許の保護および他社特許の利用の確保
- ・製品開発等における他社との提携関係
- ・日本の株式相場の変動